

北海道・東北ブロック活動報告



平成30年12月9日(日)

平成30年度女性医師支援担当者連絡会

青森県医師会常任理事 富山 月子

北海道・東北ブロック会議

平成30年10月20日（土）開催 於）宮城県仙台市



北海道医師会



医学生・若手医師への取組み

医学生・若手医師キャリアデザインセミナー

- 「医学生・若手医師キャリア形成支援検討会」が企画・運営。
- 検討会のメンバーがポスター・チラシを作成。
- 大学や部活のメーリングにより広報活動。
- 当日の司会進行もメンバーである医学生が担当。

**医学生・若手医師
キャリアデザインセミナー**
これからのキャリアを考える
医学生・若手医師が医師の働き方改革のビジョンを知り、学び、年代を超えた交流と、これからの働き方を考える。

2017年
9月3日(日) 13:30-15:30
北海道医師会館8階【会議室】札幌市中央区大通西6丁目

申し込みはここから
申し込みサイト: <https://goo.gl/forms/oB0eDZu5hwLDr1wA2>

第一部 話題提供
13:30~13:50
「働き方改革の背景とディセントワーク」
講師: 林 美枝子先生 (日本医科大学看護学助教授)

第二部 グループワーク
13:50~15:30
「働く環境について」

主催には、IMADN (5G+ニアポスターネットワーク) の協力もいただいています。

お問い合わせ 北海道医師会事業第三課
TEL 011-231-1726 メール 3ka@m.douji.jp
上記アドレスに氏名・所属・卒業年数・学年を記載してお送りいただくか、裏面の申込書にてお申し込みもできます。

お申込み・お問い合わせ
北海道医師会 事業第三課
電話: 011-231-1726
メール: 3ka@m.douji.jp
上記アドレスに氏名・所属・卒業年数・学年を記載してお送りいただくか、裏面の申込書にてお申し込みください。

**医学生・若手医師
キャリアデザインセミナー**
これからのキャリアを考える

日時: 2月25日(日) 13時30分より
場所: 札幌グランドホテル 東館3階「玉葉」
札幌市中央区北1条西4丁目 TEL: 011-261-3311

第一部 話題提供
○臨床医として進化し続けるために
～医師のキャリアデザインとイクボス～
講師: 公立学校共済組合関東中央病院 健康管理センター長 宮尾益理子 先生

第二部 グループワーク 「多様なキャリアを考える」

お申し込みはここから
申し込みサイト:

主催: 北海道医師会 共催: 日本医師会

**医学生・若手医師
キャリアデザインセミナー**
これからのキャリアを考える

第1部 話題提供
「私のキャリアパス
～グローバル・ヘルスの世界～」

講師: 東京大学大学院医学系研究科
国際保健学専攻 国際保健政策学分野
特任研究員 坂元 晴香 先生

第2部 グループワーク
「キャリアアップの弊害と解決策」

次世代医師の働き方考える
医学生・若手医師の交流の場
キャリアの悩みを共有

開催日 平成30年10月28日(日) 時間 13:00～15:00
場所 札幌グランドホテル 地下1階「クリスタルホール」
札幌市中央区北1条西4丁目 TEL: 011-261-3311

お問い合わせ 北海道医師会 事業第三課
電話: 011-231-1726 メール: 3ka@m.douji.jp

※申し込みサイトよりお申し込みいただくか、上記アドレスに氏名・所属・卒業年数・学年を記載してお送りください。
※保育室あり(要予約) ※お申し込みはここから!!

医師の勤務環境改善に対する取り組み

医師の勤務環境の整備に関する病院開設者、 病院長・管理者等への講習会

平成30年度は、日本医師会との共催により開催講習会のテーマ：「医師の働き方を考える」
経営危機から一転優良病院へと大改革した病院の働き方を加味した好事例と医師事務作業補助者の活用方法の内容。

育てる男が、家庭を変える。社会が動く。育ボセミナー
平成29年度医師の勤務環境の整備に関する病院開設者、
病院長・管理者等への講習会

医師事務作業補助者のフル活用の提案

参加費無料
平成30年
2月4日(日)
10:30~12:30
会場：北海道医師会館
8階会議室

主催／北海道医師会・北海道医療勤務環境改善支援センター

医師事務作業補助者の活用事例
医師からみた医師事務作業補助者の活用による病院組織での効果

講師：留萌市立病院 院長 村松博士 先生

勤務医の負担軽減について
函館市病院局 市立函館病院 看護局看護科長 石川 仁 氏

医師事務作業補助者の立ち立ち - 経営の貢献度について
手稲区仁会病院 医療秘書課 課長代理 南木由美 氏

参加をご希望の方は、下記よりまたは裏面の申込書にてお申し込みください

FAX 011-231-7272 E-mail 3ka@m.dou.jp

※問合せ先：北海道医師会 事業第三課
TEL 011-231-1726 札幌市中央区大通西6丁目

※参加費をお送りいたしませんので、直接会場にお越しください。
※本講習会は、日医生涯教育制度2単位として算定できます。

平成29年度は「医師事務作業補助者のフル活用の提案」をテーマに、医師事務作業補助者の活動領域の拡大とレベルを向上させる方法についての具体例を紹介・解説する内容で開催した。

平成30年度医師の勤務環境の整備に関する病院開設者、病院長・管理者等への講習会

医師の働き方を考える

医師一人一人が生涯にわたり能力を十分に発揮できる勤務環境の整備を推進するために…
育てる男が、家庭を変える。社会が動く。育ボセミナー

第一部 講演「地域に必要とされる病院をめざして —医療の質と経営の質 ともに向上するために—」

講師紹介



八幡平市立病院事業管理者
岩手県立病院名誉院長
望月 泉 先生

経営危機からの脱却。 県立病院の経営改善と勤務環境改善

岩手県立中央病院は、かつては累積損益57億円
の経営危機に見舞われていました。それが一転、医
療・経営の質を大改革し、国内屈指の優良病院へと
転じた背景には、望月先生を中心として病院職員が
同じ方向を向いた経営努力と徹底したデータ分析の
取り組みがありました。

第二部 医師事務作業補助者の活用術

「医師事務作業補助者の採用、配置、技能向上について」

医療法人社団刀圭会法人本部 人事・研修担当
村川理恵子氏(看護師・介護支援専門員)

医療機関により、医師事務作業補助者の業務範囲は異なります。主に、医療
文書の代行作成を業務としている医療機関が多いのが現状ですが、医師事務
作業補助者ができる業務はそればかりではありません。

セミナー詳細・お申し込み方法

日時：平成30年10月14日(日) 10時00分~12時00分
場所：札幌グランドホテル3階「玉葉」
住所：札幌市中央区北1条西4丁目
参加をご希望の方は、メールまたは裏面の申込書にてお申し込みください。
※参加費はお送りいたしませんので、直接会場にお越しください。【参加費無料】
※本講習会は、日医生涯教育制度2単位として算定できます

【お問合せ】北海道医師会 事業第三課 札幌市中央区大通西6丁目
TEL 011-231-1726 メール3ka@m.dou.jp

主催：北海道医師会 共催：日本医師会

岩手県医師会



- ▶ 第16回岩手県医師会女性医部会と岩手医科大学医学生との懇談会
- ▶ 女性医師が大きく羽ばたける勤務環境を目指す会
- ▶ 岩手県医師会女性医部会総会



岩手県医師会女性医部会について

◆ 目的

- 女性の視点から問題を捉え、会員相互の親睦、情報交換、福祉増進を図ることを目的として平成13年度に女性医部会を設置

◆ 構成

- 岩手県医師会の女性会員を以って構成する
⇒325名(平成30年3月31日現在)

◆ 部会役員

- 郡市医師会毎に1名(女性に限らない)、県医師会長が推薦する者若干名
⇒部会長1名、副部会長3名、幹事15名 計19名(男性4名)

◆ 担当常任理事・理事

- 増田 友之(岩手医科大学病理学講座 教授/岩手県医師会勤務医部会 副部会長)
- 宮田 剛(岩手県立中央病院 病院長/岩手県医師会勤務医部会 部会長)
- 伊藤 智範(岩手医科大学医学教育学講座 教授/岩手県医師会勤務医部会 幹事)



岩手県医師会勤務医部会と連携して事業を推進している

宮城県医師会

女性医師支援セミナー

「広がれ！イクボス・イクメンの輪Ⅱ」



みやぎ県南中核病院循環器内科部長
富岡智子先生



シンポジウム



イクボス表彰制度

医学生・研修医のためのキャリアパス相談会



おいしいランチをいただきながら
女性医師と女子医学生が交流

秋田県医師会



女性医師支援窓口ネットワーク
あきた女医ネット

▶ 女性医師の勤務環境についてのアンケート調査を毎年実施

対象：県内病院、大学臨床系講座 →結果をホームページに掲載

(掲載可の医療機関のみ)

女性医師支援窓口ネットワーク
あきた女医ネット

ホーム プライバシーポリシー

ホーム >> アンケート結果

▶ アンケート結果 2017

女性医師の勤務環境に関する県内病院アンケート結果

2017年8月に県内医療機関(67病院)および秋田大学医学部臨床系講座(22講座)を対象として、「女性医師の勤務環境に関するアンケート調査」を実施しました。

医療機関59病院、大学22講座より、回答ならびに貴重なご意見をいただきました。以下は、公開の承諾をいただいた病院・講座についてのみ掲載しております。(集計結果は回答いただいた病院・講座すべてを対象としております)

内容の追加・訂正などございましたら、「あきた女医ネット」窓口までご連絡ください。

アンケート集計結果

病院編 (PDFデータ)

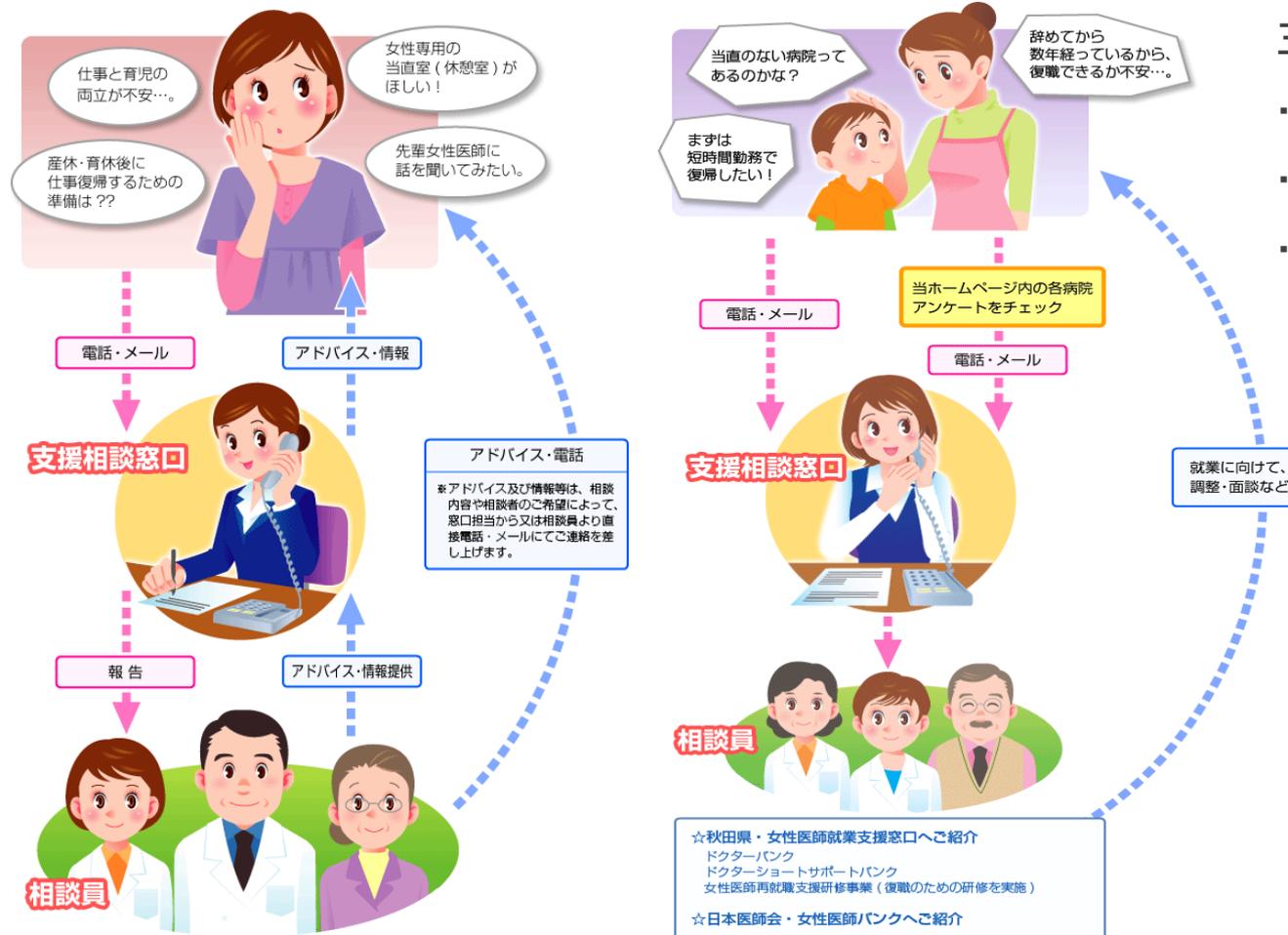
講座編 (PDFデータ)

2017年
アンケート
結果
女性医師の勤務環境に関する
県内病院向けアンケート結果

いっしょにねっこ。

あきた医師
総合支援センター

▶ 医師相談窓口の運営



主な相談内容

- ・若手非常勤医師の育休
- ・時短勤務の経済的問題
- ・復職 etc……

福島県医師会

① 「FMU キャリアサポート交流会—未来の“私”を考えよう—」開催

② 「女性医師の勤務環境に関するアンケート」の作成

③ 「福島県医師会イクボス宣言」の作成・配付

勤務医フォーラムや医療機関の勤務環境改善研修会参加者約300名に配布

イクボス宣言

私は、よりよい医療の充実のために、自らも仕事と私生活を楽しむ「イクボス」となることを宣言します。

1. 医師が安心して出産や子育て、介護ができるよう育児休業や介護休暇などを取得しやすい環境の整備につとめます
2. 医師のワーク・ライフ・バランスを考えながら、自らも率先して仕事と生活の充実に取り組みます
3. イクボスを増やすため、その働きかけを積極的に行い、自己実現にむけて医師一人ひとりのキャリアと人生を応援します

平成 年 月 日

医療機関名 _____
役 職 _____
氏 名 _____

一般社団法人 福島県医師会

④「ふくしま女性活躍応援会議」への参画

- ふくしま女性活躍応援会議とは
福島県にとって喫緊の課題である復興と地域創生を実現するために、県内各種団体が連携・協力し、女性が活躍できる環境づくりを進めることを目的とする会議。
- 参画団体
国、県、市町村、経済、農林水産、医療福祉、建設、教育等の様々な分野の団体
- 施策の方向性
 - ① トップの意識改革
 - ② 女性人材の育成・登用の推進
 - ③ ワーク・ライフ・バランスの推進

青森県医師会

大学との連携強化をめざして

- ・平成29年度弘前大学医師会との懇談会にて、「男女共同参画推進事業の連携について」をテーマに懇談
- ・男女共同参画委員会委員長に、弘前大学医学部長が就任



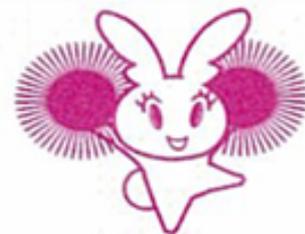
臨床研修病院訪問



青森地域研修医歓迎会



各地区医師会主催 研修医歓迎会



ワークライフバランス推進室 News Letter 「赤いりんご」

青森県医師会ワークライフバランス推進室 News Letter
第 45 号
2018. 10. 15 発行

平成30年度
医学生・研修医のためのキャリアサポートセミナーは
12月1日(土)に開催致します！

青森県医師会ワークライフバランス推進室 News Letter
赤いりんご vol.45

平成30年度青森地域研修医歓迎会

平成30年8月28日(月)午後7時00分から、アップルバレス青森 ねぶたの間で開催されました。

平成29年に第1回目を歓迎会を行ってから、今年で6回目となります。はじめに青森市医師会 成田祥幹会長から「これから研修医の皆さんとは地域医療の連携をとっていくことになります。本日は短い時間ではありますが、先生方の顔を知りたいと思います。医師会とはどういうことをやっているのか、また医師会の会員の先生方とどういふふうに関連を取ってほしいかを考える機会とさせていただければと思います」とのご挨拶がありました。

続いて青森県立中央病院副院長 高橋賢一先生と青森市民病院副院長 豊木嘉一先生からご挨拶を頂きました。続いて研修医の先生方には壇上にご挨拶を頂き、県立中央病院の先生、次に市民病院の先生の順で、自己紹介をしていただきました。今年度は、県立中央病院の18名と、青森市民病院10名の研修医の先生方(男性14名、女性12名)に青森市医師会へ入会いただきました。

続いて、青森県医師会常任理事 富山月子先生からは、女性医師支援として働きやすい職場を常に考えているので、男女問わずに皆様からご意見を伺って黒石市民男女共同参画事業を良い方向に持って行きたいとの趣や、また「医師会員のためのガイドブック」についてのお話をさせていただきました。最後に青森市医師会会長 田辺和寿先生からは、県立中央病院、青森市民病院の沿革のお話の後、乾杯のご挨拶があり、懇親会に入りました。

1時間半の懇談の後、青森県医師会男女共同参画委員会委員 村岡真理先生から、県医師会医師相談窓口及び日本医師会女性医師バンクといったセーフティネットの説明と、青森県医師会第60回総会のご案内があった後、中絶のあいさつがあり、盛況のうちに終了致しました。

ご出席いただいた研修医の先生方のご今後の活躍を期待致します。

(写真：青森市医師会事務局 川口 均)



日付	行事名
8/20(月)	第5回ワークライフバランス推進室運営会議
9/18(火)	第6回ワークライフバランス推進室運営会議
10/1(月)	青森県医師会臨床研修病院訪問(十和田市立中央病院)

青森地域研修医歓迎会

ワークライフバランス推進室 News Letter
第 44 号
2018. 8. 15 発行

猛暑日が続く、あまり外出したくない日ですが、皆様はどのように過ごされていますか？

しっかりと継続し、夏を乗り切りたい！

ワークライフバランス推進室 News Letter
赤いりんご vol.44

第1回男女共同参画委員会

平成30年7月20日(金)18:30より新委員が集まり、第1回男女共同参画委員会が開催されました。

報告事項として、医師相談窓口受付状況、研修病院訪問予定、託児施設設置補助実績、日本医師会事業への協力、また、各都市医師会主催研修医歓迎会について報告されました。

協議事項として、今年度の男女共同参画事業、キャリアサポートセミナーについて、また相談窓口の運用等について協議しました。

本年度から委員も新しくなり、弘前大学大学院医学研究科長の若林孝先生が委員長、副委員長には齋藤美貴先生が選任されました。県内医師の働く環境改善のため、力を合わせて活動して参ります。



日付	行事名
6/25(月)	第3回ワークライフバランス推進室運営会議
7/13(金)	第4回ワークライフバランス推進室運営会議
7/20(金)	第1回青森県医師会男女共同参画委員会

青森県医師会男女共同参画委員会

ワークライフバランス推進室 News Letter
第 43 号
2018. 6. 15 発行

梅雨入り、梅雨明けが例年より早い見込み
しております。

疲れを休めながら、さわやかな夏をお過ごし
ください。

ワークライフバランス推進室 News Letter
赤いりんご vol.43

第1回弘前市医師会・弘前大学医師会 研修医歓迎会・医療懇談会

平成30年4月7日(土)17:30～、青森地区や八戸地区では地区毎の研修医歓迎会があるものの、弘前地区ではこれまで行われて来なかったものを初開催しました。

最初に、弘前市医師会会長、弘前大学医師会会長、弘前大学大学院医学研究科若林孝一医学研究科長にご挨拶を頂き、続いて、懇談会に入り、各10分、医師会活動の紹介を3名の先生方にお願いました。『弘前市医師会の活動状況について』弘前市医師会会長今村憲生先生、『弘前地区在宅医療・介護連携支援センター「そまかぜ」とは』弘前市医師会理事石澤謙先生、『弘前市在宅診療所の運営について』弘前市医師会理事榎本隆先生、長時間ではありましたが、弘前市医師会の活動によって頂く大変良い機会になったと思います。

懇談会は、最初に青森県医師会常任理事で男女共同参画委員会担当の富山月子先生にご挨拶頂き、「男女共同参画」の事、青森県医師会や日本医師会の取り組みを紹介して頂きました。懇談会は全食し、懇談、臨床研修医の皆様にご挨拶頂きました。弘前市立病院、健生クリニック、黒石病院、国立病院機構弘前病院、弘前大学医師会附属病院の順で紹介して頂きました。福田院長からは、大学はたすき掛けで多くの研修医が1年目は他の臨床研修病院で研修している事、地域研修という形で1か月間市内の附属病院で研修させて頂いている事、多くの施設で研修を受けていることに對し感謝の言葉を頂きました。各料の教授や医学生にも参加して頂き、総勢50名でした。

弘前大学医師会加藤会長は研修医が大切にされていることを感じて欲しいし、その家を先生にも見せたいとおっしゃっていましたが、まさにそのような会になることが出来た嬉しかったです。医師会活動を広げていくためにも、この地域の研修医育で皆が協力していくために、継続してこの会を開催していきたいと思っております。

(写真：弘前市医師会勤務医交流委員会担当理事 夏澤美貴)



行事名
ワークライフバランス推進室運営会議
臨床研修医歓迎会(八戸市)
男女共同参画フォーラム(高知)
ワークライフバランス推進室運営会議
主催者青森地域研修医歓迎会(青森市)

青森県医師会男女共同参画委員会

ワークライフバランス推進室 News Letter
第 42 号
2018. 4. 15 発行

ご多忙のことと思いますが、お見
して、春を楽しみましょう！
スタートが切れるよう、お祈りしてい
ます。

ワークライフバランス推進室 News Letter
赤いりんご vol.42

** 研修病院からこんにちは **

～ 青森市民病院のご紹介 ～

当院はICOM diseaseからより専門的な疾患まで幅広く診療を行っており、救急車受け入れも年間700件以上と青森県医療の中でなくてはならない急性期医療機関です。様々な多くの症例を経験でき、研修を中心とした症例検討会から院内での様々な研修・講演会・ハンズオンセミナーがあり、勉強する機会もたくさんあります。また、年間を通して数々の院内イベントがあり、患者さんへの施設見学ツアーと接する機会も豊富です。こんな青森市民病院で、現在1・2年生計18名が日々キラキラと研修を行っています！

院長
副院長
部長
木 嘉一 先生



日付	行事名
2/14(水)	平成29年度女性医師会常任理事会(日本医師会)
2/28(水)	第11回ワークライフバランス推進室運営会議
3/21(金)	地域における女性医師支援懇談会(八戸市)
3/22(月)	第12回ワークライフバランス推進室運営会議
4/7(土)	第1回弘前市医師会・弘前大学医師会 研修医歓迎会医療懇談会(弘前市)

黒石市国民健康保険黒石病院のご紹介

山形県医師会

女性医師支援事業のアプローチ

- ▶ 病院勤務医の勤務環境に関する調査結果の検証
- ▶ 40代～50代非常勤女性医師への支援
- ▶ モチベーションを高めるロールモデル



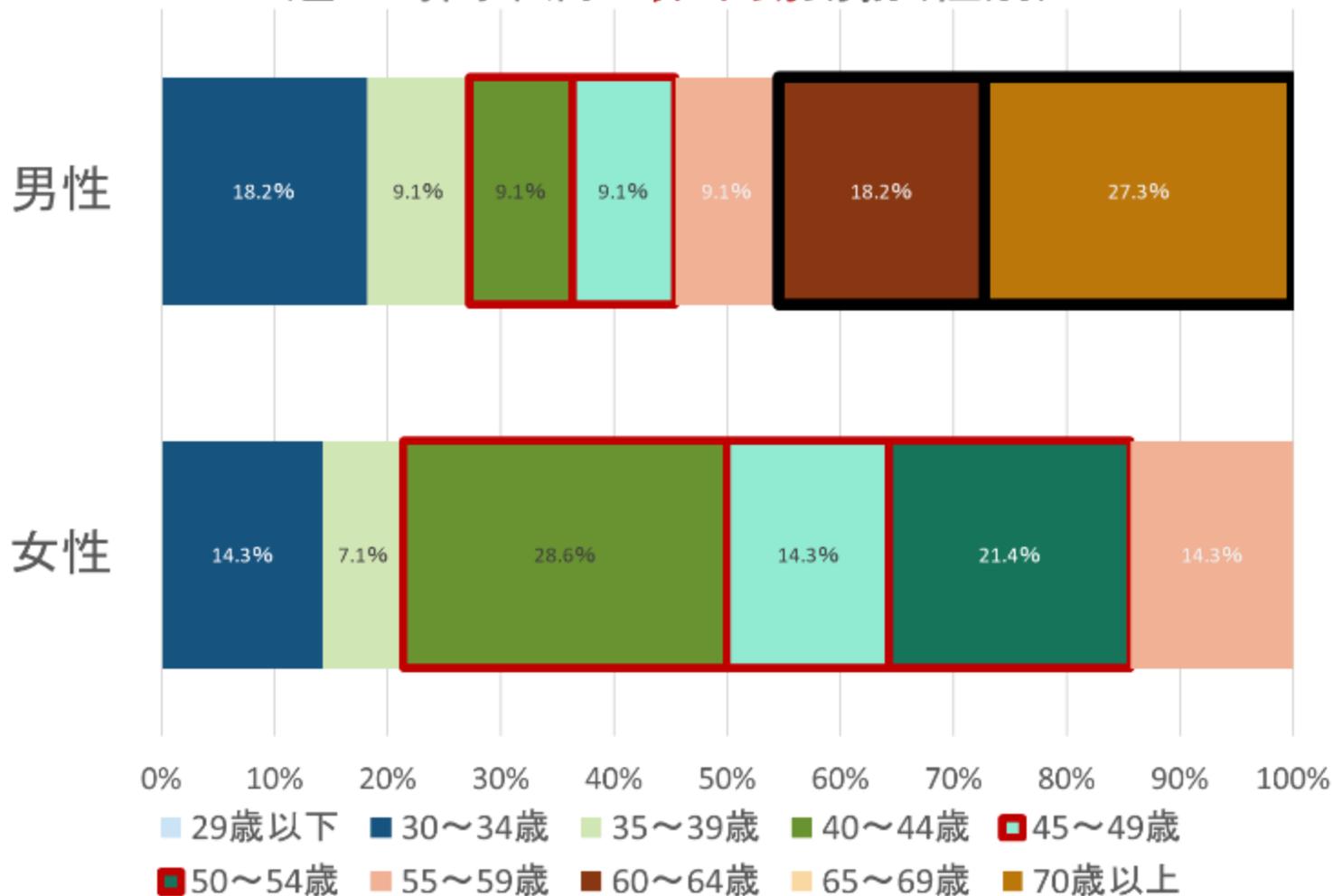
病院勤務医の勤務環境に関する調査

- ▶ 平成30年5月実施
- ▶ 対象：山形県内の全病院と病院勤務医（非常勤医師含む）



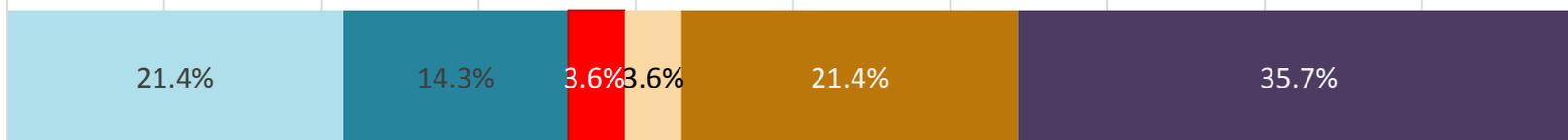
病院勤務医の勤務環境に関する調査結果

週40時間未満の非常勤勤務(性別)



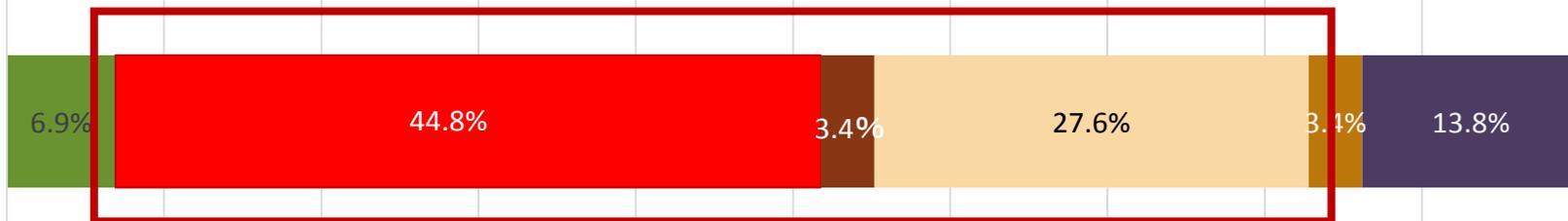
病院勤務医の勤務環境に関する調査結果

男性



短時間勤務形態を選択している理由(性別)

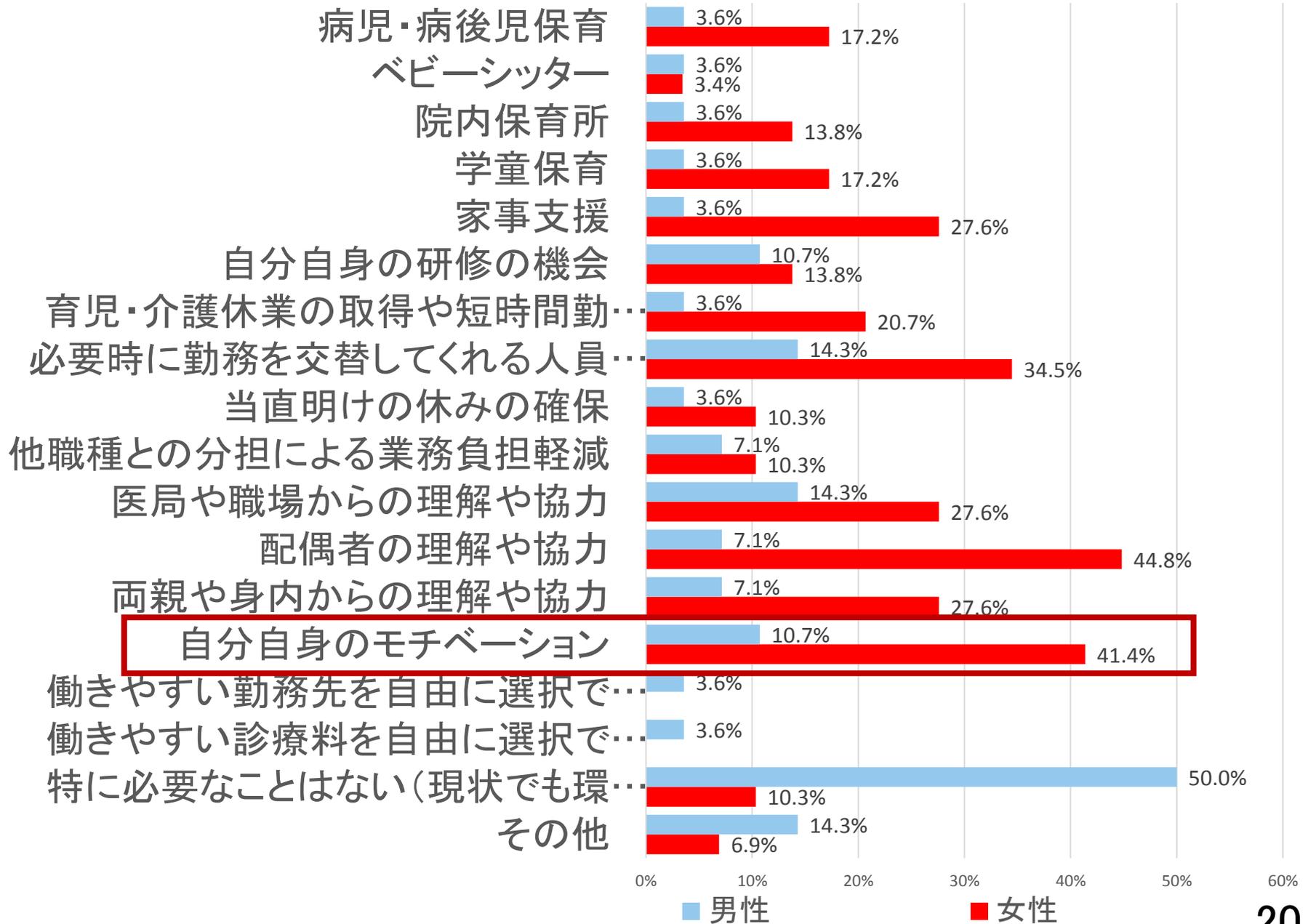
女性



- 不足している専門科のため病院から要請があった
- 研究等の時間を確保する必要があるため
- 収入が必要なため
- 複数の病院で知識・技術を習得したいため
- 育児のため
- 配偶者の転勤のため
- 家庭、家事との両立が困難なため
- 体調不良、体力の限界のため
- 出産のため
- その他

WLB

週40時間勤務に戻るために必要なこと(性別)(複数回答)



山形県女性医師支援ステーション

山形県医師会が山形県より委託を受けています



女性医師インタビュー

インタビュアー 間中常任理事

これまでに8名の女性医師にインタビュー

<http://www.yamagata-joi-support-station.jp/>



ご清聴ありがとうございました